

平成28年度 地域包括支援センター事業評価報告書 (少路) 地域包括支援センター

評価値 1できていない 2概ねできている 3よくできている

大項目	中項目	小項目	自己評価	外部評価
1. 運営体制	(1)職員の適正配置	①3職種(常勤・専従)を定数配置している	3	3
	(2)事業計画	①運営基本方針に沿った事業計画をたて、計画的な運営を行っている	3	3
	(3)苦情解決体制の整備	①苦情に対して適切に対応している	3	3
	(4)個人情報等の適正な管理	①書類の適正な保管および提出	3	3
	(5)地域住民への周知	①センターの案内や業務内容を、地域住民や関係機関に積極的に周知を図るとともに、センターの理解が深まるように働きかけている	3	3
2. 公正・中立性	(1)公正・中立性の確保	①介護予防支援業務において、正当な理由がなく特定のサービス事業者に偏りが無い	3	3
		②介護予防支援の委託先が、正当な理由なく特定の指定居宅介護支援事業所に偏っていない	3	3
		③要介護者への指定居宅介護支援事業所の紹介を公正・中立に行っている	3	3
		④法人内で地域包括支援センターが独立して運営されている	3	3
		⑤地域包括支援センターの公共性が確保できている	3	3
3. 業務別取組み	(1)総合相談支援業務	①センター職員がスキルアップのために研修に参加し、職員間で情報共有している。	3	3
		②支援困難ケースや緊急性の判断が必要な場合には、多様な観点から判断・支援できるよう複数の職員がチームとして関わる配慮をしている	3	3
		③センター内会議等を定期的に行い、職員間で情報共有や検討ができている	3	3
		④潜在的なニーズや問題を早期発見するために、高齢者の個別訪問を行うなど必要に応じて、アウトリーチによる相談・対応をしている	3	3
		⑤初期段階での相談については、的確に状況を把握した上で、緊急性を判断し、適切な対応ができている	3	3
	(2)権利擁護業務	①消費者被害や高齢者虐待などの権利侵害にあいやすい認知症高齢者に対する支援が行えている	3	3
		②成年後見制度(法定後見・任意後見)を幅広く普及するための活動を行っている	3	3
		③高齢者虐待の防止に向けた普及啓発の取り組みを行っている	3	3
		④高齢者虐待対応マニュアルに基づき、高齢者虐待対応ができている	3	3
		⑤相談受付から虐待対応の終了まで虐待相談時の対応フロー図に沿って対応を行っている	3	3
	(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	①介護支援専門員に対する支援を行っている	3	3
		②介護関係者と医療機関との連携体制を作っている	3	3
		③企画シートを用いて地域支援計画が策定できている	3	3
		④地域ケア会議「地域福祉ネットワーク会議(高齢部会)」を行っている	3	3
		⑤介護支援専門員からの困難事例の相談に積極的に応じ、適切に助言等を行っている。	3	3
	(4)介護予防ケアマネジメント	①2次予防事業対象者に対して、介護予防事業の必要性を説明し、事業参加につなげる工夫をしている	3	3
		②個別性を踏まえ、具体的な計画・目標設定を行っている	3	3
		③介護予防教室が終了した後、対象者及び家族との面接等によって、対象者の心身の状況等を把握し、適切に評価・フォローを行っている	3	3
		④介護予防事業の参加につながらなかった2次予防事業対象者について、不参加理由の蓄積や整理ができている	3	3
		⑤基本チェックリスト未返信者に対して適切にフォローを行っている	3	3